

こだま通信

Kodama Communication H28.11 No.84



林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター

平成28年度「山の日」制定記念「森林と木材! フォトコンテスト」入賞作品の紹介



近畿中国森林
管理局長賞

『古からの宝物』 金田 勇希 様 (秋田県能代市)

【メッセージ】

私は若い頃、溪流釣りに熱中し、近場の八峰町などに通い詰めました。自然が織り成す雄大な景色の中で釣りをしていく中で、特にカメラを購入してからは川の源である山や、森林の美しさにも興味が広がっていきました。今では動植物、そして私達人間がいかに自然や森林の恩恵を受けているか考えない日はありません。写真のブナと杉は自然の偉大さを、アカショウビンはその恩恵に預かりながら生きる動物を表現しております。自然よ、森林よ、ありがとう。



近畿中国森林
管理局長賞

『木の学び舎』 橋本 直子 様 (兵庫県西宮市)

【メッセージ】

普段はコンクリートでできた小学校に通っている子どもたちを連れて、木造校舎に遊びに行きました。親世代は古びた木の校舎を懐かしく感じ、子どもたちは「木ってあたたかいね」「転んでも痛くない!」と木のよさを実感したようでした。このような木造建築物を大切に保存し、後世にそのすばらしさを伝えていくことがわたしたちの役目だと思います。



近畿中国森林
管理局長賞

『森の小さな芸術家たち』
いきいき成器保育園 奥村 光明 様
(鳥取県鳥取市)

【メッセージ】

4月に出かけた鎮守の森で、園児達が大きなタモの木を発見しました。緑の苔にすっぽり包まれた太い幹は、格好のキャンパス。拾い集めた木の枝や葉っぱを、みんな真剣な表情でその上に置きました。どうですか、この出来栄え。森の小さな芸術家達は満足顔です。何やら、森の精も微笑んでいるみたい。あらためて園児達の想像力に脱帽です。いきいき成器保育園では、里山の森に積極的に出かけて行き、園児達の豊かな感性を育む保育に力を入れています。



当センターでは、入選作品をカレンダーに編纂してお配りしますので、皆さんお楽しみに!



左から、岡 副園長、平井県知事、湯谷園長

近畿中国森林管理局長賞を受賞された、いきいき成器保育園の湯谷園長は、鳥取県の平井県知事を訪問し、森林管理局主催のフォトコンテスト受賞について報告。訪問の様子は、地元新聞やテレビで報道され、フォトコンテスト受賞の喜びが広がりました。





優秀賞

『森は生きている』
佐伯 範夫 様
(島根県安来市)

【メッセージ】
奥深い山中にはいろんな動植物が生息しています。何年も生き延びるものもあれば、数週間ほどで死んでしまうものもあります。
ヒメボタルがその一つです。そして何の変哲もないこの森に昼には見ることでできない夜の顔を作ってくれます。
寿命は短いけど子孫を残すため精一杯生きているのです。
そのけなげなしい生き方に人間は邪魔しないで見守る努力をし、子供や孫に伝える義務があります。今年も金色の美しい光を放つヒメボタルの季節がやってきました。

優秀賞



『近くの森の動物達』
太田 和夫 様 (大阪府吹田市)

【メッセージ】
エキスポ'90みのお記念の森は、自宅から近い所にあり、野鳥撮影によく行きますが、多くの動物達にも出会います。
①親子の猿。水飲み場で野鳥を待っていたところ、突然数十匹の猿の群れが現れ驚きましたが、親子の猿の睦まじい姿には、怖さを一瞬忘れ見入ってしまいました。
②初めて見た鮮やかな青色した蝶、ルリタテハにも感動。
③珍しいテンにも遭遇。この豊かな環境を大事に守っていきたいと思います。



優秀賞

『枯木の象形』
湯川 喜義 様 (長野県木曾郡木祖村)



【メッセージ】
登山は、私の趣味のうち、大きなウェイトを占めるものの一つである。山へ登っていると、突然、異様な姿をした枯木に出会うことがある。普段、人目にも触れず、ひっそりと佇んでいる山の中の枯木。
ここに紹介するのも、何とも不思議な形をした枯木のひとつである。
ひとつめは、マンモスのような、ヒツジのような形をした大きな枯木。緑の茂みからヌッと立ち上がり、あたかもこちらを威嚇しているような形相でジッと睨みつけている。あるいは、モダンダンスをしているような仕草でもある。
もうひとつは、白い大蛇のようにうねった形をしている枯木。急坂を登ったとたん、突然、目の前に現れギョッと、心臓が止まりそうなほどびっくりした枯木。あるいは、白狐が変身して獲物を待ち構えているような仕草でもある。
どうしてこんな形になったのか、元の木はどんな形をしていたのか、思いをはせるのも楽しみのひとつである。意思があるのなら聞いてみたい気がする。
こんな枯木に出会うのも山登りの喜びの一つである。

審査員特別賞

『白山高山植物園の花』
矢田 玲士 様
(小学生・石川県金沢市)



【メッセージ】
石川県白山市の白峰にある白山高山植物園には、毎年通っています。今年は6月5日と6月19日の2回行きました。
駐車場から5分くらいの山道を登って、森が開けたところに植物園があります。
写真のとり方をお母さんに教えてもらいながら、何十枚もとった中から、うまくとれた写真をおうぼします。

